

ID:											施行日	クール
患者氏名	殿										療法	
年齢 性別			入院/外来			入力日	年	月	日			
疾患名						開始日	年	月	日			
クール	1	週	投与	2	週	休薬	診療科					
	備考 Day1					医師名						
適応基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発					告知の有無	P S		同意書取得	<input type="checkbox"/> 済		
			身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00	m ²			
重要	B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。										<input type="checkbox"/> HBs抗原 <input type="checkbox"/> HBs抗体 <input type="checkbox"/> HBc抗体	
薬品名	単位	薬品名	単位	外来化療加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外		【必須】血液製剤に関する説明と同意書			<input type="checkbox"/> 済		
アブラキサン 260 (PTX:アルブミン懸濁型)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body		mg/m ² mg/body									

レジメン内容

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
①	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型) 生食液(100mL) ※	<input type="text"/> mg 100mL	D.I.V	30分
※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注				
②	生食液(50mL)	50mL	D.I.V	全開

血漿分画製剤のため、ロット番号の記録および保存が必要です。

調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照
 1バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。
 残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。

	1Kur目	2Kur目	3Kur目	確認者	監査者						
Day	1	8	15	22	29	36	43	50		
アブラキサン	↓		↓			↓				

注意事項など

【払出し～回収まで】

- ①Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入+シール貼付する。 ※事前準備はしない
- ②注射箋薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
- ③看護部側へは、注射箋・薬剤包装箱・ロットシールを払い出す。
 ※注射箋には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。
 (混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
- ④看護部側は投与後、注射箋にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
- ⑤薬剤部は、実施後の注射箋が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。